

大雪・偉大な国・コロナワクチン

雪の少なかった昨シーズンに比べると、なんとこの冬は、多い事・多い事。

裏の雪置き場の高さは、二階建ての屋根の高さになりました。

福井や関越の高速道路での閉じ込められての渋滞や古川のホワイトアウト現象化での多重衝突事故、そして屋根からの落雪による犠牲等、悲惨な事故が報道されております。

溶けて水になってしまう雪に命まで任せる必要はありません。

”二人以上での雪片付けで、事故を防ぎましょう”との呼びかけが有ります。

長年の慣れと自信が過信となって事故につながる事が、繰り返されているようです。



アメリカ大統領の就任式が行われました。

歴代の数人の元大統領経験者が参加して祝福しておりました。

ただ、前大統領は不参加でしたし、どなたの演説にも、その他の話にも“その名前”が出てきませんでした。

議院内閣制で誰が選んだか分からないような形でトップが決まる我が国と比べると、非常にすっきりとしたものと感じました。

就任演説も原稿に目を落としっぱなしで行うのではなく、多くの国民に呼び掛けるものでした。

夢のある偉大な国であるなど改めて納得した次第です。



コロナに関しては、医療崩壊が様々なところから噴出していますが、いよいよワクチンが用意されるとのことですが接種方法などで多くの問題があるようです。

短時間に沢山の国民に行わなければならないことや保管の環境が超低温のマイナス70℃という扱い、更にはどのような副反応が出現するか・・・等々。

いずれにしろ命にかかわる事ですので、慎重に扱うことです。

私たち医療人は大変な ”大忙し” になりそうです。

いのち・生きている事が一番です。

来月またお会いしましょう。

院長 清治 邦夫